

事務事業名		中国帰国者等生活支援事業(単独)			会計	一般会計			
H27担当課等名		福祉課	H27係等名	生活福祉係	事業種別	政策	開始	20	終了
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり	H26係等名		地域福祉係		
		施策	36	生活困難者の自立及び支援					
目的	対象(誰・何を)	中国帰国者 負担金支出先:中国帰国者交流会			対象指標	指標名及び単位			26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	帰国者同士がふれあいをすることにより、安心して生活が送れるようにする				国費帰国者数(人)			40
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	交流会への参加者数/国費帰国者 (%)			48	40	48	40	
	定性目標								
事業概要	1 日本での生活が定着しても、孤立化しないよう、同じ境遇を過ごしてきた帰国者同士のふれあいの場を設け、交流を図る。								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 中国帰国者交流会 2 傷病見舞金の支給				1 参加人数 2 支給件数		1 25人 2 2件		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		127	143	125	135				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		127	143	125	135				
人件費計(千円)②		715		715					
正規職員所要時間		200		200					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		842	143	840	135				
事業内容・目標達成状況の振り返り	帰国者の高齢化により参加率の低下が見込まれたが、送迎等の対応を工夫することで目標を上回る参加率となった。一方で、当初参加の申込みをしていたが、体調や気分がすぐれず、急遽不参加となる方もいた。介護施設入所者等については、相手方施設の理解・協力も不可欠である。								
改革改善の考え方	①問題点	中国帰国者等の高齢化による、交流会への参加者数減少。							
	②改革提案	参加者数に応じて規模を徐々に縮小する方向で考えねばならない。同時に、参加できる方々へは積極的な呼びかけを行い、参加しやすく、意義のある交流会となるよう一層の工夫が必要である。							